



児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果 HP公表

事業所名 ことばの相談室ひなたぼっこ

HP公表日 2022年12月23日

時期:	2022年10月1日～11月25日	職員 討議	202/12/16
対象:	上記の時期に利用があった利用者全員		
方法:	評価用紙を利用時に直接手渡し、協力を依頼する。 昨年からは回収率を上げる目的でその場で記入してもらい(スタッフは別室へ移動)、設置した回収箱に入れてもらった。		
集計:	評価は14項目について4段階で評価してもらった。それを点数化(3、2、1、0点)し集計した。合計点は3点×14項目=42点が最高になる。最低は0点になる。Excel のピボットテーブルを使って分析した。 また、各項目ごとに自由記述欄を設けた。その記述を結果にまとめた。		

結果 1、依頼数と回収数・回収率と合計点の平均は下表の通りだった。

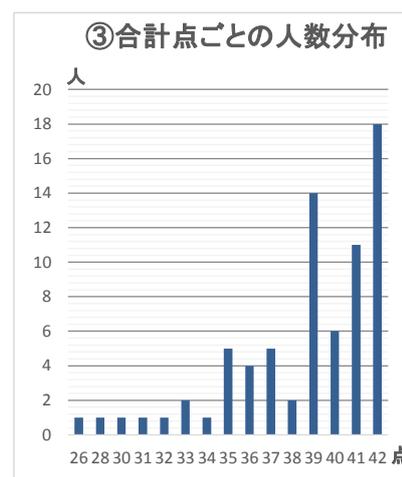
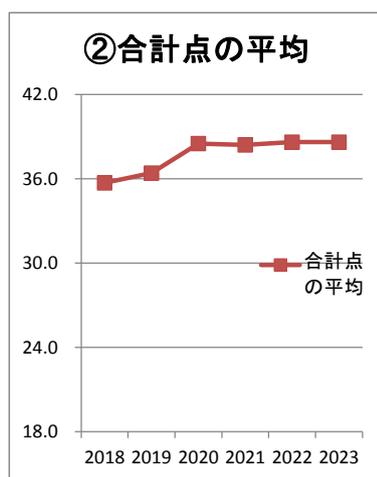
回収率	依頼数	回収数	2018	依頼数	回収数	2019	依頼数	回収数	2020	依頼数	回収数	2021	依頼数	回収数	2022	依頼数	回収数	2023
児発	28	22	79%	25	15	60%	30	24	80%	31	30	97%	28	28	100%	33	32	97%
放デイ	36	24	67%	39	27	69%	47	25	53%	42	39	93%	44	38	86%	41	41	100%
合計	64	46	72%	64	42	66%	77	49	64%	73	69	95%	72	66	92%	74	73	99%

合計点平均	2018	2019	2020	2021	2022	2023
児発	35.5	35.3	38.1	38.0	38.2	38.5
放デイ	36.0	37.0	38.8	38.8	38.9	38.7
合計点の平均	35.7	36.4	38.5	38.4	38.6	38.6

結果(グラフ①、②、③)

* 回収率は児発・放デイとも、昨年に引き続き高かった。

* 合計点の平均は、児童発達支援と放課後等デイで差はあまりなく、1点以内である。



評価

1. 回収率:

回収率は、一昨年回収方法を少し変えた。回答の秘密を保持するために、以前は用紙を一度持ち帰ってもらい、次回来たときに玄関にある箱に投函してもらっていたところ、忘れる人がいた。回収率が低いと、保護者の意向総体を反映したものとは言えない。そこで、回答用紙を(ひなたぼっこは保護者送迎なので)その場で記入して、箱に投函してもらった。もちろんスタッフは記入時にその場から離れる。回収方法を変えてから回答率が改善した。今年も高い回収率である。結果は、ほぼ利用者保護者の意向を反映していると言える。

2. 合計点の平均値と、中央値

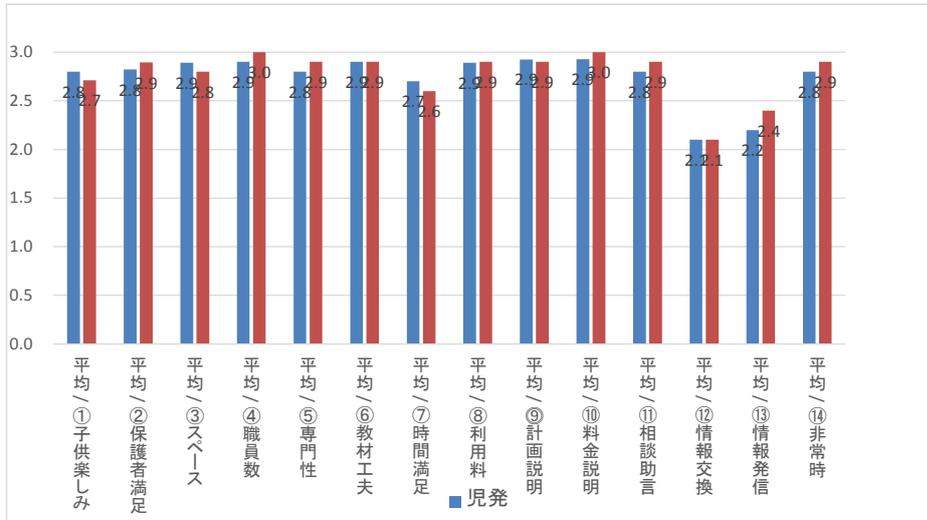
合計点は高いレベルを維持している。児発と放デイで合計点平均に大きな差はない。ただしその分布は正規分布ではなく、グラフ③のとおり「はい」の方に大変偏っている。42点(満点)が18人であり、39点~42点が49人と、半数以上だった。

3. 合計点の分布:

(平均点は上記の通りだが、その得点は正規分布ではない)満点の42点が18人と、最も多く集中している。すべてに満足しているという人である。その次に多いのは39点で、代表的な例として、「利用回数・時間」「保護同士の情報交換」「事業所としても情報発信」の三つの項目で2点をつけたということになる。その他の人は、いくつかの項目で2点や1点を付けられていた。それらの項目に物足りなさを感じているということだろう。

結果 2、各項目ごとの、得点の平均点は下の表と図の通りだった。

値	平均 / ①子供 供しみ	平均 / ②保護者 満足	平均 / ③ス ペース	平均 / ④職 員数	平均 / ⑤専 門性	平均 / ⑥教 材工夫	平均 / ⑦時 間満足	平均 / ⑧利 用料	平均 / ⑨計 画説明	平均 / ⑩料 金説明	平均 / ⑪相 談助言	平均 / ⑫情 報交換	平均 / ⑬情 報発信	平均 / ⑭非 常時
児発	2.8	2.8	2.9	2.9	2.8	2.9	2.7	2.9	2.9	2.9	2.8	2.1	2.2	2.8
放デイ	2.7	2.9	2.8	3.0	2.9	2.9	2.6	2.9	2.9	3.0	2.9	2.1	2.4	2.9
総計	2.7	2.8	2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	2.7	2.0	2.3	2.8



- * ①「子供の満足度」から⑪「相談助言」までの項目は、3点満点中おおむね2.7点以上で、高評価だった。ただし、⑦時間の満足度が今年はやや低得点になった。
- * ⑫「保護者同士の情報交換」が低評価だった。しかし数値としては6年間で改善している(下表)
- * ⑬「事業所からの情報発信」がやや低評価だった。昨年より低得点だった。
- * ⑭非常時の情報発信は20年、21年と改善している。新型コロナの影響で度々通信を発行したのが評価につながったと思われる。

	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	児発	放デイ										
平均・⑫情報交換	1.5	1.6	1.3	1.9	1.8	2.0	1.7	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1
平均・⑬情報発信	2.0	2.0	1.9	2.3	2.1	2.6	2.4	2.6	2.4	2.5	2.2	2.4
平均・⑭非常時	2.4	2.5	2.3	2.6	2.9	2.7	2.8	2.8	2.7	2.8	2.8	2.9



評価と対策

- ・⑫「保護者同士の情報交換」が最も低得点であることが続いている。ただし2018年の1.5点台から、この5年間は改善してきて、2.0点前後になって来ている。「保護者のけいじ板」を設置して、情報交換を促している。
- ・そもそもひなたぼっこは、事業所による送迎サービスはしておらず保護者送迎であり、保護者同室にて療育を行っている。かつ、利用児が2名～3名での小グループ活動なので、保護者同士は話をする機会は他の事業所に比べてとて多い。しかしその時同室になった保護者同士が、必ずしも話しやすいとは限らず、場合によってはあまり自分のこと(または、子どものこと)を話したくないこともある。それは尊重しなければならない。
- ・そこでひなたぼっこが希望者を募った「保護者のつどい」を土曜日に年間3回、各回90分ほど設定しているのだが、参加者は毎回2～3名と多くはない。アンケートを一昨年にしていつがいいか問うたところ、土曜日が最も多かった。しかしやはり参加者は増えなかった。土曜日はお出かけや行事もあるのであろう。
- ・⑬「事業所からの情報発信」が2番目の低評価項目である。ただしこちらも2018年の2.0点台から改善してきて2.5点前後になっていたが、今年度は新型コロナに関する情報発信が減りやや減点したと思われる。今年度はこのアンケートに記述されたことに対してお答えする通信を、継続して発信していく予定である。